

G8は無責任な武器輸出による犠牲者を裏切った

「コントロール・アームズ」キャンペーンによる共同声明

アムネスティ・インターナショナル、オックスファム、小型武器行動ネットワーク

23日、G8外相会談の英国議長が発表した武器規制に関する声明は、非常に期待はずれであり、貧困と不正義に終止符を打つというG8の公約を裏切るものです。

確固とした、強制力のある武器貿易条約について交渉することを約束するどころか、G8外相は、武器が粗野な人権侵害者たちの手に渡ることを防ぐという約束を何もしませんでした。G8は、毎年殺害される何十万人もの一般市民、および貧困から逃れる機会を奪われている何百万人もの人びとを裏切りました。

G8諸国は、世界の武器輸出全体の80%以上を占めています。これらの国は、国際的なリーダーシップを示す道徳的および法的責任があります。

今回の中途半端な声明は、国際法や人権に基づいた、強固で強制力のある武器規制条約を支持する合意が高まっていることを認識したものとは言えません。

背景

2005年6月23日のG8外相会談後の英国議長声明：

「われわれは、紛争が起り不安定な地域における、通常兵器の拡散に関する共通の懸念を議論した。英国は武器貿易条約への提案について詳述した。われわれは、各国政府の責任の共通理解を発展させることが、通常兵器の有害な拡散と闘うための重要な一歩になるということ合意した。われわれは、関係する他のイニシアチブを全て考慮に入れながら、行動のための合意を形成するためにさらに努めるということ合意した」

この件に関するお問い合わせは：

- 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン (担当 夏木)
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2階
Tel:03-3834-1556 Fax: 03-3834-1025 E-mail: midori@oxfam.jp